

## OBの数が6百の舞台に

### 硬式テニス部

硬式庭球部は大正11年（1922年）、大分高商の開校の年に産声を上げた歴史ある部です。

昭和初期には九州ランキングの10傑に毎年のように部員がランクインしていた記録が残っていますが、昭和30年代半ばにはほとんど活動実績がなくなり、廃部の危機に瀕したこともあったそうです。田嶋孝至先輩（大11—私は我が部の「中興の祖」と崇めています）の精力的な活動で部は息を吹き返しました。田嶋先輩は卒業後も出来る限りコートに顔を出し後輩の指導に当たり、OBと現役学生が繋がる組織の基を作ってくださいました。

また、卒業した田嶋先輩と入

れ替わるように大分大学に着任され、硬式庭球部の部長に就任して下さった御手洗 丈夫教授の強力な指導で更に強い絆が生まれ、御手洗教授を慕いコートに顔を出すOBが増えて行ったのです。

正式な後援会の結成は昭和47年（1972年）で、これは経済学部創立50周年の年と重なっており、大学と共に歴史を刻んで来た部なのだということを改めて感じます。

初代の後援会長は言うまでもなく田嶋先輩で、不肖私も4代目の会長を務め、現在は6代目の元、現役学生の後援とOBの懇親を組織的に行なっています。

OBの数はもう直ぐ600名の舞台に乗ります。OB同士の夫婦も何組もありますし、親子ともOBという人も居て、やはり歴史を感じます。

現在5月3日、4日に開催しているOB戦は開催時期や内容を変えながらも昭和41年（1966年）から連綿と続けられており、毎年たくさんOBが参加してくれます。後援会長が若い世代になつてからは20

代、30代の卒業生のOB戦への参加が増え、今年は2日間で延べ100名を超えるOBが参加しました。特に最近の子供連れでテニスコートに帰つて来てくれる姿が目立ち、コートで親子でテニスをしたり、コート外で小さな子供とOB達が遊んだりしているのを見ると部としての絆を感じて嬉しくなります。

5年後、経済学部が創立10

0周年を迎える2022年、我が硬式庭球部も創部100年と後援会結成50周年の節目を迎えます。

OBとしてより一層の協力をして行くことで、経済学部、大分大学と共に、硬式庭球部と後援会も歴史を刻み、絆を紡いで行く一助になればと思っております。

（木下哲郎 大32 記）



5月のOB戦には100名以上が参加